

和泉なおみ都議は先の統一地方選挙では日本共産党勝利のために都内各地を駆けめぐって奮闘しましたが、その間、寸暇をぬって葛飾区内の懸案問題の解決や、ものづくりを中心とした中小企業対策のための政策・調査活動にとりくみました。

墨田区産業観光部を訪問

「すみだモダン」のとりくみを聴く

気になるものづくり継承行政の後退

和泉都議と三小田准一 区議は4月14日墨田区産業観光部を訪問し、墨田区の中小企業対策の現状を聴取しました。

和泉事務所中小企業対策チームは東京東部のものづくり工業の現状をもう一度とらえなおそうと近隣区や区内の街工場への訪問活動を計画していますが、墨田区訪問はその一環です。

和泉都議と三小田区議は4月18日深海探查機「江戸っ子1号」の開発に見込み、2009年から日常生活用品や飲食店などのすぐれた商品の「すみだ地域ブランド戦略」を開始し、その後名称を「すみだモダン」と変更、2021年からは持続可能性や多様な

と、その商品が社会にどんな働きかけをしているのかという新たなコンセプトも加えた戦略へと発展させています。

杉野ゴム化学工業を訪ねる

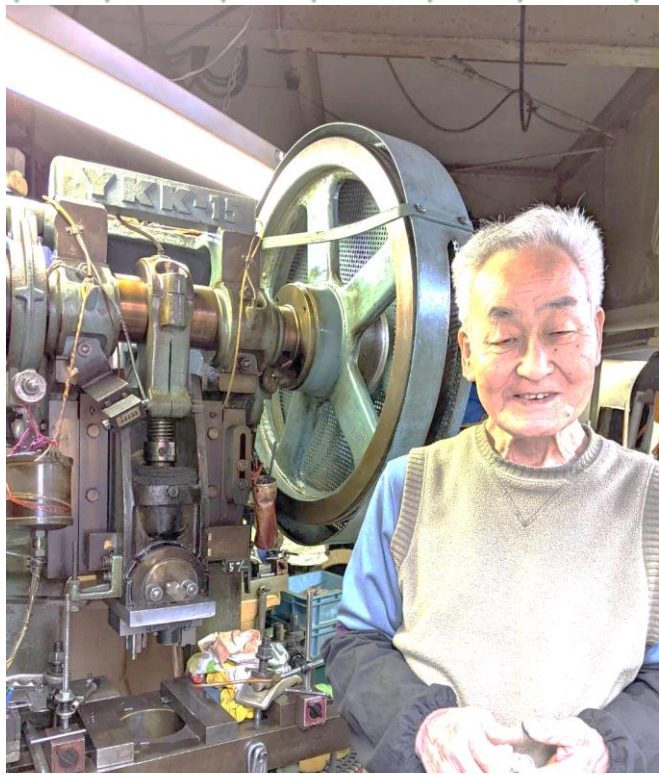
「区内の中小企業をもっと知って」

と杉野社長

和泉都議と三小田区議は4月18日深海探查機「江戸っ子1号」の開発に携わり自社製品が葛飾ブランドに認定されている白鳥1丁目の杉野ゴム化学工業所からものづくりについて伺いました。

本日の産業構造としてよくない」と延べ、ものづくりの楽しさ、意義についての理解を深めるために、小学校での体験学習、また、区内の高校を卒業しても区内での就業率が低いことから、東京都産業教育連合会と連携して区内中小企業の姿を知ってもらう努力をしているとのことでした。

化、学校教育にもものづくりの実践的な位置づけ、区の担当者がせっかく慣れたとき、人事異動になるので見直してほしいなど、「中小企業の実態をわかってもらうために、も役所の改革もしてほしい」との要望が出されました。



区内中小業者

現在、商工会議所が中心となって葛飾ブランドの認定企業の集まりを持ち、デザイナーをよんでの研修、特に若手を中心にした集まりにしたいと語っていました。行政に対して、賃上げのために1年〜2年の間だけでも給料の4分の1ほどの助成、産学公連携をもっとすすめるための体制強



ネット展開などに力を入れていきますので、学ぶものがあります。

ただ2016年に「すみだ中小企業センター」を廃止し、これまでの町工場をふくめた中小企業全体のものづくりの継承が弱まっているのではないかということでは気になるところでした。



日本共産党都議会議員
和泉なおみのさわやかレポート
 発行 和泉なおみ事務所
 葛飾区東立石 3-25-8
 TEL 5671-0850
 FAX 5671-0851

N080
2023.5